

第3期埼玉県観光づくり基本計画

令和7年度 施策実施状況報告書

埼 玉 県

目 次

第 1	第 3 期埼玉県観光づくり基本計画の概要	5
1	基本理念	5
2	基本方針	5
3	施策体系	5
第 2	計画の進捗状況	6
1	施策の取組状況	6
2	計画の目標・実績	7
第 3	計画に基づく事業実施状況	10
	主要施策 1 安心・安全で誰もが楽しめる観光の推進	10
1	インバウンド誘致の推進	10
	主要施策 2 観光産業の持続的発展の促進	11
1	市町村や民間事業者等との連携	11
	主要施策 3 デジタル技術を活用した魅力と利便性の向上	11
1	デジタル技術を活用したイベントの実施	11
	主要施策 4 アニメの聖地化の更なる推進	12
1	アニメを活用した観光誘客の推進	12

主要施策 5	強みを生かした何度も訪れたくなる埼玉観光の確立	12
1	インダストリアルツーリズムの推進	12
2	自然環境を生かした体験型観光の促進	13

第1 第3期埼玉県観光づくり基本計画の概要

埼玉県観光づくり推進条例（平成24年3月27日施行）に基づき、令和4年6月定例県議会において、第3期埼玉県観光づくり基本計画策定の報告を行った。

この計画は、観光づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するためのものである。

1 基本理念

「旅したくなる また来たくなる ずっと居たくなる埼玉」

2 基本方針

- (1) ポストコロナを見据え、チャンスに変える
- (2) デジタル技術で創る・魅せる
- (3) 埼玉らしさを磨く・極める

3 施策体系

- 主要施策1 安心・安全で誰もが楽しめる観光の推進
- 主要施策2 観光産業の持続的発展の促進
- 主要施策3 デジタル技術を活用した魅力と利便性の向上
- 主要施策4 アニメの聖地化の更なる推進
- 主要施策5 強みを生かした何度も訪れたくなる埼玉観光の確立

第2 計画の進捗状況

1 施策の取組状況

第3期埼玉県観光づくり基本計画（以下「計画」という。）（令和4年度～令和8年度）に基づき、市町村、民間企業等と連携し、5つの主要施策に取り組んだ。

○ 主要施策1「安心・安全で誰もが楽しめる観光の推進」

訪日外国人実態調査の実施
団体旅行商品の造成支援

○ 主要施策2「観光産業の持続的発展の促進」

市町村や民間事業者等との連携

○ 主要施策3「デジタル技術を活用した魅力と利便性の向上」

「埼玉バーチャル観光大使」を活用したイベント

○ 主要施策4「アニメの聖地化の更なる推進」

家族都市協定に基づく「クレヨンしんちゃん」のスタンディパネルの設置
アニメを活用した観光施策の情報共有を目的としたセミナーの実施

○ 主要施策5「強みを生かした何度も訪れたくなる埼玉観光の確立」

インダストリアルツーリズムの推進
自然環境を生かした体験型観光の促進

2 計画の目標・実績

計画で定めた目標値の実績等については、以下のとおりである。

(1) 観光消費額

【目標の設定】

現状値（令和2年）3,266億円 ⇒ 目標値（令和8年）7,400億円

【実績】

令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	目標値 (令和8年)
3,266億円	4,486億円	5,380億円	5,676億円	6,712億円	7,081億円	7,400億円

(2) 本県で観光・レジャーを楽しむ人の数（観光入込客の数）

【目標の設定】

現状値（令和2年）7,349万人 ⇒ 目標値（令和8年）1億6,000万人

【実績】

令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	目標値 (令和8年)
7,349万人	8,592万人	1億974万人	1億2,532万人	1億2,266万人	1億3,333万人	1億6,000万人

(3) 本県を訪れた年間外国人観光客数

【目標の設定】

現状値（令和2年）8万人 ⇒ 目標値（令和8年）97万人（※3）

【実績】

令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	目標値 (令和8年)
8万人	－（※1）	5万人（※2）	79万人	106万人	125万人	97万人（※3）

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外からの入国制限措置及び入国後の行動制限が取られたことから、令和2年4月から外国人観光客に関する調査を停止したため、令和3年は実績数値なしとなっている。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外からの入国制限措置及び入国後の行動制限が取られていたため外国人観光客に関する調査が停止されていたが、令和4年6月に入国制限が緩和され、令和4年7月に調査を再開したことから、令和4年7月から令和4年12月までの数値となっている。

※3 埼玉県5か年計画の変更に合わせて、以下のとおり指標を変更した。

（変更前）65万人→（変更後）97万人

(4) 1人あたりの観光消費額

【目標の設定】

・ 県外からの宿泊客

現状値（令和2年） 15,955円 ⇒ 目標値（令和8年） 29,300円

・ 県外からの日帰り客

現状値（令和2年） 5,695円 ⇒ 目標値（令和8年） 8,700円

【実績（県外からの宿泊客）】

令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	目標値 (令和8年)
15,955円	22,709円	22,182円	23,573円	26,050円	25,621円	29,300円

【実績（県外からの日帰り客）】

令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	目標値 (令和8年)
5,695円	6,476円	6,423円	6,752円	8,219円	7,853円	8,700円

第3 計画に基づく事業実施状況

計画に基づき実施した主な事業は、以下のとおりである。

■ 主要施策1 安心・安全で誰もが楽しめる観光の推進

1 インバウンド誘致の推進

訪日外国人の実態を調査・分析し、県内観光地を巡る旅行商品造成支援などを実施することで、インバウンド誘致の推進に取り組んだ。

(1) 訪日外国人実態調査の実施

- ・外国人観光客の人流等の調査を実施

(2) 団体旅行商品の造成支援

- ・台湾現地旅行会社と連携し、県内観光地を巡る旅行商品造成を支援

予算事業名	観光統計調査事業（継続）	支出済額	23,794 千円
-------	--------------	------	-----------

予算事業名	インバウンド誘致の推進事業（継続）	支出済額	153,056 千円
-------	-------------------	------	------------

■ 主要施策 2 観光産業の持続的発展の促進

1 市町村や民間事業者等との連携

「埼玉みどころ旬感協議会」等により、市町村や民間事業者等と連携した観光づくりを推進した。

(1) 「埼玉みどころ旬感協議会」等の運営

- ・市町村や観光協会が加入する「埼玉みどころ旬感協議会」や民間事業者等が参画する「埼玉県観光プロモーション戦略会議」における定期的な情報共有

予算事業名	DMO体制整備事業（継続）	支出済額	99,934 千円
-------	---------------	------	-----------

予算事業名	本県の強みを生かした観光プロモーション事業（継続）	支出済額	216,559 千円
-------	---------------------------	------	------------

■ 主要施策 3 デジタル技術を活用した魅力と利便性の向上

1 デジタル技術を活用したイベントの実施

埼玉バーチャル観光大使「春日部つくし」をフックとしたイベントを実施した。

(1) 「埼玉バーチャル観光大使」を活用したイベント

- ・「春日部つくしと巡るデジ玉スタンプラリー2025」を実施
- ・「バスガイドは春日部つくし！真っ赤ないちご食べつくしツアー」を造成

予算事業名	本県の強みを生かした観光プロモーション事業（継続）	支出済額	216,559 千円
-------	---------------------------	------	------------

■ 主要施策4 アニメの聖地化の更なる推進

1 アニメを活用した観光誘客の推進

家族都市協定に基づく「クレヨンしんちゃん」を活用した観光誘客施策やアニメを活用した観光施策の情報共有のためのセミナーを実施した。

- (1) 家族都市協定に基づく「クレヨンしんちゃん」のスタンディパネルの設置
 - ・ しんちゃんの音声流れるスタンディパネルを制作し、県内3か所に設置
- (2) アニメを活用した観光施策の情報共有を目的としたセミナーの実施
 - ・ 市町村間の情報共有及びネットワーク強化を目的とした「アニメの聖地セミナー」の開催

予算事業名	本県の強みを生かした観光プロモーション事業（継続）	支出済額	216,559 千円
-------	---------------------------	------	------------

■ 主要施策5 強みを生かした何度も訪れたくなる埼玉観光の確立

1 インダストリアルツーリズムの推進

埼玉県が強みである産業に焦点を当てたインダストリアルツーリズムの推進に取り組んだ。

- (1) インダストリアルツーリズムの推進
 - ・ 見学可能な工場と周辺の観光スポットを組み合わせたモデルコースを紹介

予算事業名	本県の強みを生かした観光プロモーション事業（継続）	支出済額	216,559 千円
-------	---------------------------	------	------------

2 自然環境を生かした体験型観光の促進

豊かな自然を活用した体験型観光を促進した。

(1) 秩父高原牧場の運営

- ・ふれあい動物（山羊・めん羊・うさぎ）を飼育し、県民に憩いの場を提供
- ・土日祝日やGW期間中に「乳製品の手作り体験学習」を開催

予算事業名	秩父高原牧場運営費（継続）	支出済額	74,071 千円
-------	---------------	------	-----------

(2) 豊かな森林資源を生かした体験型イベント等の実施

- ・「埼玉県県民の森」等の森林ふれあい施設で、豊かな森林資源を活用したイベントを実施

予算事業名	県民の森等管理運営事業費（継続）	支出済額	58,159 千円
-------	------------------	------	-----------

(3) 自然ふれあい施設等（埼玉県自然学習センター・北本自然観察公園、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター、さいたま緑の森博物館）を活用した体験教室等の実施

- ・親子で楽しむ自然観察会や、自然の中で遊びながら自然を体感し学ぶ体験教室等のイベントを実施
- ・自然を効果的に活用し、誰もが気軽に自然と親しむことができる学習機会の提供

予算事業名	自然ふれあい施設管理費（継続）	支出済額	179,214 千円
-------	-----------------	------	------------

(4) 見沼田圃保全・活用・創造事業推進

- ・見沼田圃の保全・活用・創造に資する普及啓発を図るための農業体験イベント等を実施

予算事業名	見沼田圃保全・活用・創造事業推進費（継続）	支出済額	15,503 千円
-------	-----------------------	------	-----------